

## 原井の三則

☆場を清める  
☆時間秩序を正す  
☆人間関係を高める



第201号 令和4年  
11月15日 (火)  
発行・原井小学校  
TEL22-0863

師走となり、二学期も残すところ十日ばかりとなりました。寒さも厳しくなりましたが、冬休みに向けてのまとめや準備をしつかりとしたいものです。コロナについても、安心できる状況とは言えませんが、基本的な対応を徹底したいと思います。

## SDGs (エス・ディー・ジーズ)

先月の全校朝礼では、Society5.0について、話をしました。今月は、そのことに関連させながら、SDGs (エス・ディー・ジーズ) について話をしてきました。近頃、いろいろなところでこのロゴを見かけますので、

ご存じの方も多いのではないのでしょうか。SDGsとは、日本語で言う「持続可能な開発目標」



の略称です。SDGsは二〇一五年九月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟一九三か国が二〇三〇年までの一五年間で達成するために掲げた目標です。SDGsは、十七の大きな目標と、それらを達成するための具体的な一六九のターゲットで構成されています。

目標を実際に示してみましよう。

「一、貧困をなくそう」「二、飢餓をゼロに」「三、すべての人に健康と福祉を」「四、質の高い教育をみんなに」「五、ジェンダー平等を実現しよう」「六、安全な水とトイレを世界中に」「七、エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「八、働きがいも経済成長も」「九、産業と技術革新の基盤をつくろう」「一〇、人や国の不平等をなくそう」「一一、住み続けられるまちづくりを」「一二、つくる責任つかう責任」「一三、気候変動に具体的な対策を」「一四、海の豊かさを守ろう」「一五、陸の豊かさを守ろう」「一六、平和と公正をすべての人に」「一七、パートナーシップで目標を達成しよう」

この十七の目標の中から、「二、飢餓をゼロに」を示しながら、四年生が学習発表会で発表をした井戸平左衛門のサツマイモの話や、給食委員会の食べ残しゼロの取組を紹介しました。又、「一四、海の豊かさを守ろう」を取り上げ、五年生の水産業の学習のことや四年生の海浜清掃や釣り体験のことを関連付けて話しました。

大事なことは、SDGsを知識として知ることだけではなく、自分にも大きく関係することとして、自分に何ができるのかを考え、小さなことからでよいので実際の行動に移すということではないでしょうか。身近にできることはたくさんあるはずです。そして、一部の人の力に頼るのではなく、世界中の一人一人が手に手を取り合って目標の達成に向かい協力していくことです。

原井小学校の百九十人の子ども達もその大切な一人なのです。

最後に、蛇足かとは思いましたが、目標達成のためには、何をしてもよいというわけではないということにも少しだけ触れました。「一三、気候変動に具体的な対策を」気候変動への対策を具体的に進めることはとても大切です。しかし、その対策がなかなか進まないからといって、極端な行動に移すというのはどうなのでしょう。持続可

能な開発のための行動とは、どのようなものなのか、もう一度しっかりと考える必要があるのではないかとと思うところです。



## お知らせ



学校評価について、お願いをしなければならぬ時期となりました。昨年と同様に、今年度も十二月十九日～二十一日に計画しています。多目的ホールにタブレットを準備し、保護者の皆様それぞれに評価を打ち込んでいただくこととなります。お子様一人一人についての評価となります。忌憚のない意見をいただくことで、今後の学校運営の改善に生かしていきたいと考えます。どうかよろしくお願いいたします。

## 【生け花クラブ作品】

生け花クラブの子どもが、クラブで作成した作品を校長室に持ってきて飾ってくれました。

とてもすばらしい作品で、校長室がパツと華やかになり、うれしく思います。

